# 会社データ　Corporate Data

## 会社概要

| | |
|---|---|
| 会 社 名 | 三機工業株式会社 |
| 英文社名 | SANKI ENGINEERING CO. LTD |
| 創　　立 | 1925年4月22日 |
| 資 本 金 | 81億518万円（2021年3月31日現在） |
| 事業内容 | 建築設備事業、プラント設備事業、不動産事業 |
| 従業員数 | 連結 2,548名　個別 2,048名<br>（2021年3月31日現在） |

## 事業所一覧（2021年6月23日現在）

| | |
|---|---|
| 支　　社 | 3ヶ所 |
| 支　　店 | 15ヶ所 |
| 総合研修<br>研究施設 | 1ヶ所 |
| 工　　場 | 1ヶ所 |

## 連結子会社（2021年6月23日現在）

三機テクノサポート株式会社
三機産業設備株式会社
三機化工建設株式会社
三機環境サービス株式会社
三機パートナーズ株式会社
三机建筑工程（上海）有限公司（中国）
タイ三機エンジニアリング&
コンストラクション社（タイ）
アクアコンサルト社（オーストリア）

## 役員（2021年6月23日現在）

○取締役および監査役

| | |
|---|---|
| 代表取締役会長 | 長谷川　勉 |
| 代表取締役社長 | 石田　博一 |
| 取締役 | 三石　栄司 |
| | 工藤　正之 |
| | 飯嶋　和明 |
| | 福井　博俊 |
| | 川辺　善生 |
| | 山本　幸央 |
| | 柏倉　和彦 |
| | 河野　圭志 |
| | 松田　明彦 |
| 常勤監査役 | 人見　悦司 |
| | 齊藤　一男 |
| 監査役 | 藤田　昇三 |
| | 跡見　裕 |
| | 江頭　敏明 |

○執行役員

| | |
|---|---|
| 専務執行役員 | 三石　栄司 |
| | 工藤　正之 |
| 常務執行役員 | 白木　博之 |
| | 杉浦　繁 |
| | 國廣　正年 |
| | 朝倉　和昭 |
| | 福田　順一 |
| | 飯嶋　和明 |
| 執行役員 | 富田　弘明 |
| | 福井　博俊 |
| | 矢野　憲一 |
| | 川辺　善生 |
| | 泉　和男 |
| | 穴口　常明 |
| | 苅部　郁生 |
| | 太田　伸祐 |
| | 山中　庸詳 |
| | 門脇　公夫 |
| | 鹿田　晃彦 |
| | 成瀬　安計 |
| | 勝野　耕治 |
| | 本川　忠行 |
| | 青木　伸一 |
| | 中村　諭史 |
| | 野口　哲 |
| | 岩崎　恭士 |
| | 波多野　宏行 |
| | 新保　順一 |
| | 浅沼　辰夫 |
| | 岩井　良博 |
| | 寺崎　毅史 |
| | 砂田　直人 |
| | 山崎　泰弘 |
| | 奥野　竜久 |
| | 浜坂　順一 |
| | 梅沢　昭仁 |
| | 中川　勇人 |


三機工業株式会社
〒104-8506 東京都中央区明石町8の1 聖路加タワー
TEL.03-6367-7041　FAX.03-3541-6676
https://www.sanki.co.jp/



Waterless Printing. Naturally.
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915
VEGETABLE OIL INK
UD FONT


三機工業株式会社

証券コード：1961

# 株主通信

## 決算のご報告

［2021年3月期］
2020年4月1日～2021年3月31日

*Engineering for the Future*

Business Report

# 2021

## Contents


To Our Shareholders
「ごあいさつ」 2

Top Message
トップメッセージ 3

Medium-Term Management Plan
特集❶：2019～2021年度
中期経営計画
“Century 2025” Phase 2 7

SANKI Construction Case Study
特集❷：施工事例紹介 9

SANKI Technology Introduction
特集❸：技術紹介 10

Annual Topics
年間トピックス 11

Consolidated Financial Data
連結財務データ 13

Stock Information
株式データ 14

Corporate Data
会社データ 裏表紙


三機工業グループ経営理念
「三機スタンダード」

## エンジニアリングをつうじて
## 快適環境を創造し
## 広く社会の発展に貢献する

技術と英知を磨き、顧客満足の向上に努める
コミュニケーションを重視し、相互に尊重する
社会の一員であることを意識し、行動する

# To Our Shareholders

## ごあいさつ

代表取締役社長
石田 博一

新型コロナウイルス感染症により、亡くなられた方々に謹んでお悔み申し上げますとともに、罹患された方々が一日も早く回復され、平穏な生活が戻りますことをお祈りいたします。

2021年3月期の国内経済は、感染症の感染拡大の影響により、厳しい状況が続き、企業収益の悪化を背景とした設備投資抑制の動きが見られました。

そうした中で当社グループ事業は、前期並みの受注高を獲得したものの、民間企業の投資マインド低下に伴う小規模営繕工事や設備投資の中止・延期等の影響が生じたことにより、減収減益となりました。しかしながら、原価管理の徹底や現場サポート体制の強化、施工省力化などの利益改善に向けた取り組みにより、高水準の採算性を維持することができました。

現在推進中の3ヵ年中期経営計画 **“Century 2025” Phase2** では、「信頼」を高めることをテーマとしております。**Phase1**の「質」を高める取り組みを継続するとともに、新たに「財務・資本政策とESG方針の開示」および「情報発信力の強化」に注力し、ステークホルダーの皆さまの当社グループに対するご理解を深めていただく取り組みを進めてまいります。

当社グループは、引き続き「総合エンジニアリング企業」としてのミッションを遂行し、人々の生活と産業の発展を支え、さらなる社会貢献を果たしてまいります。

2021年6月

代表取締役社長 石田 博一

## [ 2021年3月期の総括 ]

### コロナ禍による影響を受ける中、受注高はほぼ横ばいながらも減収・減益。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が拡がる中、当期の国内設備投資は、企業収益の悪化に伴う投資の抑制傾向を受けて減少しましたが、期後半からは回復に向かいました。

当期の業績を事業ごとに振り返ると、建築設備事業は、ビル空調衛生を主とした大型工事の売上が端境期となったことに加え、小規模営繕工事の中止、延期等の影響を受けました。その結果、建築設備事業全体の受注高は前期比0.6%減と前期並みとなりましたが、売上高は同9.3%減と減収となりました。

プラント設備事業のうち機械システム事業は、感染症の影響を受け、受注高が前期比24.1%減、売上高は同19.7%減となりました。一方、環境システム事業は、大型の上下水設備工事を受注したことなどにより、受注高が同18.4%増、売上高は同1.3%増となりました。

以上により当期の連結業績は、受注高1,955億円（前期比0.8%増）、次期繰越受注高1,416億円（同4.0%増）、売上高1,900億円（同8.5%減）となりました。利益面においては、減収の影響により営業利益74億円（同29.7%減）、経常利益81億円（同27.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益59億円（同22.1%減）となりましたが、原価管理の徹底や現場サポート体制の強化、施工省力化などの改善施策を推進し、高水準の採算性を維持しております。

## [ 中期経営計画の進捗状況 ]

### 「質」と「信頼」の向上を目指す各重点施策が着実に進展。

3ヵ年中期経営計画 **"Century 2025" Phase2** は、重点施策として「コア事業の強化」「成長戦略の推進」「三機ブランドの向上」を前計画 **Phase1** から引き継ぎ、加えて「財務・資本政策とESG方針の開示」「情報発信力の強化」を実行していくことで、当社グループの「質」と「信頼」の向上を目指すものです。業績目標は、3年間を通して売上高2,000億円、最終年度の2022年3月期における売上総利益320億円、経常利益100億円の達成を掲げています。

計画2年度目の当期は、売上高が2,000億円を下回る結果となりましたが、各重点施策はこれまでの

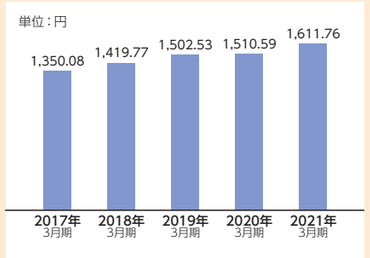
**受注高**

**売上高**

**経常利益**

**親会社株主に帰属する当期純利益**

**1株当たり純資産額**




**1株当たり当期純利益**

2年間で着実に進展しています。「質」の追求においては、技術開発の推進と省エネ・省力化ニーズへの対応が成果を上げ、「信頼」を高める取り組みでは、後述する株主還元の拡充、協力会社への支払条件の見直し、働き方改革や社内コミュニケーションの活性化、社会貢献、情報発信など、すべてのステークホルダーとの良好な関係づくりに努めています。

当社グループは、長期ビジョンを実現し「選ばれる」会社となるため、引き続き環境変化に柔軟に対応できる企業体制を構築しつつ、新技術の開発、コーポレートガバナンスの一層の強化に取り組み、コンプライアンスの徹底を土台として、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向け鋭意努力を重ねてまいります。

[ 2022年3月期の見通し ]

## 中期経営計画の達成に向け、増収・増益を予想。

2022年3月期の連結業績は、受注高2,000億円（当期比2.3%増）、売上高2,000億円（同5.2%増）、営業利益95億円（同26.7%増）、経常利益100億円（同22.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益70億円（同18.6%増）を予想し、**"Century 2025" Phase2** の業績目標については、達成を見込んでいます。

[ 株主の皆さまへのメッセージ ]

## 株主還元方針により特別配当を加え、1株当たり80円の年間配当を実施。

当社は、株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけております。

**Phase2** において、当社グループ経営目標の中で総還元性向70%以上を目標値として定めており、配当については1株につき年間60円以上の安定的な配当を実施することを、自己株式取得については **Phase2** 期間中に500万株程度を弾力的に実施していくことを基本方針としております。

当期は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済の急激な落ち込みや生活スタイルの変化など、多大な影響がもたらされた1年となりました。このような状況を踏まえ当社グループでは、ステークホルダーである株主の皆さまへの還元を通じて今後の経済回復と活性化に貢献することが、持続可能な社会の実現に向けた一助になると考えております。

今回の期末配当は、同方針を踏まえて1株当たり35円の普通配当に特別配当同10円を加え、同45円とさせていただきました。これにより年間配当額は、中間配当同35円と合わせて同80円となりました。自己株式については、当期中に100万株の取得および消却を実施しました。2022年3月期の年間配当額は、1株当たり70円（中間配当同35円・期末配当同35円）を予定しています。

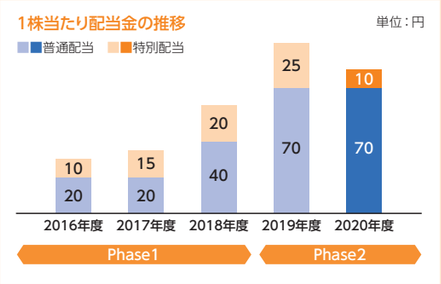
当社グループは、引き続き感染症がもたらす環境変化に対応しつつ、総合エンジニアリングによる価値提供を継続し、人々が安心して暮らせる豊かな社会づくりに貢献してまいります。

今期は個人株主さまが増加しており、当社グループに対する今まで以上の期待の声であると捉えております。

株主の皆さまにおかれましては、これからも永きにわたり当社グループ事業に対するご支援を賜りますようお願い申し上げます。

| | Phase2（2019～2021年度）目標値 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 2019年度 目標 | 2019年度 実績 | 2020年度 実績 | 2021年度 目標 |
| 売上高 | 2,000億円 | 2,076億円 | 1,900億円 | 2,000億円 |
| 売上総利益（率） | 300億円（15.0%） | 321億円（15.5%） | 287億円（15.1%） | 320億円（16.0%） |
| 経常利益（率） | 90億円（4.5%） | 112億円（5.4%） | 81億円（4.3%） | 100億円（5.0%） |

| | Phase2（2019～2021年度）経営目標 | 2020年度 実績 |
|---|---|---|
| 経常利益率 | 5.0%以上（最終年度） | 4.3% |
| 配 当 | 1株当たり年間配当金 60円以上 | 年間配当金 80円 |
| 自己株式取得 | 500万株程度（3年間） | 100万株（累計295万株） |
| 総還元性向 | 70%以上 | 97.3% |
| ROE | 8.0%以上（最終年度） | 6.6% |



2019～2021年度 中期経営計画

# “Century 2025” Phase2

当社は創立100周年を迎える2025年度までの10年間の長期ビジョン“Century 2025”のセカンドステップとして、信頼を高め、選ばれる会社となるための3ヵ年の中期経営計画 “Century 2025” Phase2を推進してきました。2020年度はPhase2の2年目となります。今年度の取り組みについてご紹介いたします。

| | 事業概況 | 主な取り組み |
|---|---|---|
| 建築設備事業 | • 大型工事の端境期<br>• 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により補修等の小規模営繕工事の受注売上が停滞<br>• 好調な半導体・5G関連等の需要を取り込み 2019年度以上の受注を確保 | • 施工省力化新技術の現場導入（自律走行型風量測定ロボット開発・現場運用開始）<br>• 三機テクノセンター活用による災害件数、施工中トラブル・クレームの削減 |
| ファシリティシステム事業 | • 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けたオフィスのワークスタイルコンサルティングが増加 | • コンサルティング推進課を新設し、新コンサルティングサービスを提供<br>• 次世代中央監視システム（SIer）の受注・売上が堅調に推移 |
| 機械システム事業 | • 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により製造業向け受注売上が停滞<br>• ロボットによる省力化・自動化ニーズ拡大 | • ロボットと搬送設備を組み合わせたハイブリッドシステムの受注・売上が堅調に推移 |
| 環境システム事業 | • 国土強靭化のニーズ拡大を受け、受注が大幅に増加 | • 当社初のバイナリー発電システム付過給式流動炉を採用した大型案件を受注<br>• 脱水汚泥の含水率をAIで予測するシステムを開発 |

## 「質」と「信頼」の向上に向けた取り組み

### 1. 質のさらなる追求 ●技術開発の推進、省エネ・省力化ニーズへの対応

#### 技術開発の推進

- 建築設備工事向け自律走行型風量測定ロボット開発 P11-12をご参照ください。
- 脱水汚泥の含水率をAIで予測するシステム開発 P10をご参照ください。

#### 省エネ・省力化ニーズへの対応

- 「北多摩一号水再生センター汚泥焼却設備再構築工事（東京都）」に当社初バイナリー発電システム付過給式流動炉を採用

過給機使用により、大幅な省エネと$CO_2$削減

発電による創エネ実現

### 2. 「信頼」向上への取り組み

- 株主還元（配当金、自己株式取得・消却）
- 協力会社への支払条件見直し
- **働き方改革、社内コミュニケーションの向上、社会貢献、情報発信**

#### 働き方改革

- スマイルプロジェクト※の下に各部門によるスマイルプラン設置

↓

部門毎により具体的な施策を実施

スマイルプロジェクト
スマイルプラン
建築 / プラント / ファシリティ海外 / 管理支援

- 働き方改革に関する全社講演会『ワークスタイルCCU』を開催

※スマイルプロジェクト：2017年度に発足した、施工管理者の負担軽減と業務効率化を推進する委員会

#### 社内コミュニケーションの向上

- リモートでアバターを活用し、社長CCU※を実施
- 役員CCUを開催し、役員による意見交換を実施

※CCU：対話を目的としたイベント（Century Communication Up）

#### 社会貢献

- 「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度10周年

SANKI YOU ECO2 POINT

ご採用いただくと、森が増えます。

P11をご参照ください。

#### 情報発信

- 全国放送のテレビ番組に協賛しCMを放映

- 展示会への出展

バーチャル下水道展
（2020年8月18日～2021年7月31日（予定））

ENEX2021
（2020年12月9日～12月11日）

世界最高レベルを目指す医療拠点の構築に貢献

# 千葉大学医学部附属病院 新中央診療棟

「人間の尊厳と先進医療の調和を目指し、臨床医学の発展と次世代を担う医療人の育成に努める。」を理念とする、千葉大学医学部附属病院（千葉県千葉市）。世界最高レベルの医療拠点を目指す再開発整備計画の一環として、2021年1月、新中央診療棟をオープンしました。

当社は、その空調・衛生設備の施工を担当。複数棟からなる同病院の再開発整備計画のなかでも、特に重要な部門が入る施設において、患者が安心・信頼して利用できる環境を構築しました。主に空調設備としては、一部の手術室などを除き、基本的にビル用マルチエアコン（マルチクリーンエアコン含む）と全熱交換器※付きの外気処理空調機を設置しました。外気処理における負荷低減とともに、使用する部門や室ごとでの個別空調を可能にし、省エネルギー化を実現する設備となっています。

また、院内での汚染や感染を防止するため、放射線を扱う部門や感染症を検出する診察室などは室内を陰圧に保ち、室外に空気が流れ出ないしくみになっています。

▲新中央診療棟外観

一方、一般的な手術室は室外の空気が流れ込まないようにするために室内を陽圧にするのに対し、今回の施工においては、感染症対策として、陰圧に切り替えることができる手術室も構築しました。

さらに、熱源機器のエネルギー源として電気とガスを併用し、熱源機器や熱源搬送用ポンプを複数台設置することで、災害時や停電時に危機分散することを可能としています。

▲ヘリポートがある屋上に設置した空調設備機器

※空気中の全熱（顕熱（けんねつ）＋潜熱（せんねつ））を交換する省エネルギー装置。室内からの排気と取り込んだ外気との間で熱交換をおこない、エネルギー効率よく換気することができる

**施工担当者**

千葉支店 建築設備技術部
久村 淳（右）
大村 孝（中）
樋之津 祥作（左）

今回の施工は、全フロアが異なる用途のため、一般的なオフィスビルのような同じ間取りとなる基準階がなく、フロアごとに独自の施工をおこないました。全フロアの施工を同時に進めていくために、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら各フロアに責任者を配置するとともに、施主さまをはじめ、関係各社にご協力いただくことで、施工現場全体がひとつにまとまり、質の高い施工をおこなうことができました。これからも施工関係者全員で協力体制を築き、信頼性が高い施工をおこなってまいります。





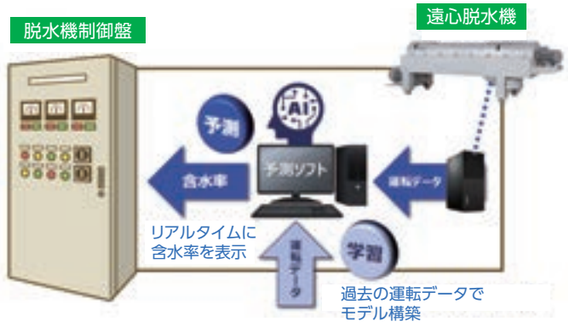
国内2か所の下水処理場で本格稼働

# 脱水汚泥の含水率をAIで予測するシステムを開発

下水処理場で使用される汚泥脱水機の脱水汚泥の含水率をAIで予測するシステムを開発しました。

下水処理場の汚泥焼却炉および汚泥固形燃料化施設の安定稼働には、汚泥を焼却する際のエネルギー利用効率を高めるために、脱水汚泥の含水率を把握することが求められます。当該システムは、省エネ型遠心脱水機※の運転状況（遠心効果、供給汚泥濃度、脱水機のコンベア部分のトルク等）と脱水汚泥の含水率の関係性をAI予測ソフトに学習させるモデルを構築。モデルを用いて実際の運転状況からAI予測ソフトでリアルタイムに脱水汚泥の含水率を予測します。

この予測値を用いて汚泥燃焼・燃料化工程における運転条件を最適に管理することで汚泥焼却炉および汚泥固形燃料化施設の稼働が安定し、汚泥処理設備全体の省エネルギー化も期待できます。




▲システムイメージ図

当該システムを搭載した省エネ型遠心脱水機は、既に国内において初号機が稼働しており、2021年3月には福岡市西部水処理センターにおいても3台が稼働を始め、2022年中には合計で6台が稼働を始める予定です。

今後は、含水率予測を可能とした省エネ型遠心脱水機の市場展開を積極的に図るとともに、下水道処理施設における省エネルギーや創エネルギーへの取り組みを推進してまいります。

※当社が技術提携しているアルファ・ラバル社製の新型遠心脱水機で、従来機に較べ50%の動力削減を実現している

▲遠心脱水機

当社グループは E S G に配慮した経営を推進してまいります。

2020.4 G

## 経営体制の一新と一層のガバナンス強化

2020年4月1日から、長谷川勉（現会長）の後を継ぎ、石田博一が代表取締役社長に就任しました。また、今年度から、取締役会の透明性と監督機能の強化を図るため、取締役会議長に山本幸央社外取締役（独立役員）を選任しています。さらに、人事報酬諮問委員会の構成を見直し、同委員会の透明性と中立性をより高めるため、委員全員を社外取締役のみの構成としました。

2020.11 S

## 建築設備工事向け自律走行型風量測定ロボットを開発 従来比75%の工数削減による働き方改革の推進

建築設備工事における空調設備の施工品質の向上と性能検証時の業務負荷の軽減が可能な「自律走行型風量測定ロボット」を開発し、試験運用を開始しました。

このロボットは、風量測定機器と昇降装置およびそれらを移動させる自律走行型ロボットと制御機器で構成され、これまで主に建物の天井面に配置される空調用吹き出し口1か所ごとの人手による風量測定作業を自動化するものです。

今後は、自社現場での導入を推進するとともに、画像認識技術や各種計測機器との融合による用途の拡張と合わせて、BIMとの情報連携による高機能化を図ります。また、当社機械システム事業のもつ搬送機器・制御技術との連携による応用開発を進め、施工技術支援、施工管理業務など建設施工現場における多様な業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）の実現を目指し、より働きやすい環境づくりを推進してまいります。

▲手作業による風量測定

▲自律走行型ロボットによる風量測定

2021.2 E

## 第61次南極地域観測越冬隊一行が帰国

2月22日、当社社員も参加した、第61次南極地域観測越冬隊一行を乗せた砕氷艦「しらせ」が無事横須賀に着港しました。当社は「環境保護に関する南極条約議定書」が採択された1991年以降、11月に日本を出発した第62次越冬隊に参加している社員を含め、これまでに16名の社員を南極昭和基地に派遣しており、南極観測事業の支援を通じて地球環境の保全に貢献しています。

2020 4 5 6 7 8 9 10 11 12 2021 1 2 3

2020.10 E

## 「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度 10周年

お客さまとともに地球温暖化防止・持続可能な社会の実現に貢献する「SANKI YOUエコ貢献ポイント」制度が、2020年10月で10周年を迎えました。本制度では、お客さまに$CO_2$削減につながる設備の省エネルギー提案をおこない、ご採用いただいた場合、その削減量をエコ貢献ポイント（1トン当たり100円）に換算し、環境保全活動を助成しています。初年度（2010年度）からの寄付金額累計額は21,203,200円、植樹本数は約17,000本（約5ha）。当社がお客さまとともにつくってきた森の広さは、東京ドームとほぼ同じ面積に相当します。

本制度が10周年を迎えたことを記念して、お客さまへの感謝の気持ちをこめ、山梨県甲斐市にある「三機の森」（当社創立90周年記念時より継続的に植樹・育樹活動をおこなっている区域）に隣接する場所に、新たに「感謝の森」をつくり植樹活動をおこないました。

SANKI YOU
ECO2 POINT

ご採用いただくと、森が増えます。

社会の発展と環境との調和を目指す、
「SANKI YOUエコ貢献ポイント」のシンボルマーク。
ECO2…エコ（Ecology）に貢献（Contribution）
することによって、$CO_2$を削減します。

2021.3 S

## 「震災復興プロジェクト」の継続的な取り組み

3月1日、東日本大震災からの復興を祈念した『津軽三味線コンサート「和絆（きずな）」2021』を当社ホームページにて公開しました。

さらに、3月8日～12日の5日間、農林水産省食料産業局『食べて応援しよう!』と連携した社内企画「東北復興応援! 東北からの贈り物」を実施。三機テクノセンターの食堂で、東北産品の食材を使用した弁当を提供しました。

当社は東日本大震災発生の翌年5月、全社横断的な活動組織「震災復興プロジェクト」を東北支店内に発足させました。現在は本社をプロジェクト事務局とし、同プロジェクトではメンバーによる被災地の継続的な現況視察などの活動を通じて、震災記憶の風化防止、現地の風評被害の払拭など様々な情報の共有化を図っています。

▲ホームページで公開中の津軽三味線コンサート「和絆」2021

# 連結財務データ　Consolidated Financial Data

より詳しいIR情報はこちら
https://www.sanki.co.jp/ir/
三機工業　検索

## 連結貸借対照表の概要

単位：百万円

| 科　目 | 前期末（2020年3月31日現在） | 当期末（2021年3月31日現在） |
|---|---|---|
| 流動資産 | 130,765 | 116,054 |
| 固定資産 | 50,040 | 55,258 |
| 資産合計 | 180,805 | 171,313 |
| 流動負債 | 79,705 | 67,882 |
| 固定負債 | 13,735 | 11,731 |
| 負債合計 | 93,440 | 79,614 |
| 純資産合計 | 87,364 | 91,699 |
| 負債純資産合計 | 180,805 | 171,313 |

## キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

| 科　目 | 前 期（2019年4月1日から2020年3月31日まで） | 当 期（2020年4月1日から2021年3月31日まで） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 11,940 | △483 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △303 | △1,423 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △8,955 | △6,974 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 45,946 | 37,087 |



# 株式データ　Stock Information

## 株式の状況（2021年3月31日現在）

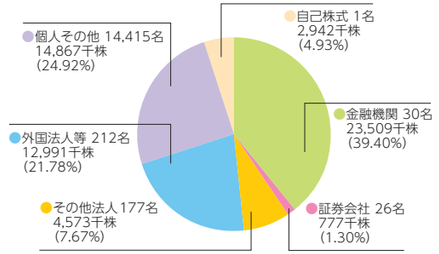
| | |
|---|---|
| 発行可能株式総数 | 192,945,000株 |
| 発行済株式総数 | 59,661,156株 |
| 株主数 | 14,861名 |

## 大株主（2021年3月31日現在）

| 株 主 名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---|---|
| 明治安田生命保険相互会社 | 5,630 | 9.93 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 4,596 | 8.10 |
| 大樹生命保険株式会社 | 3,134 | 5.53 |
| 三機共栄会 | 2,803 | 4.94 |
| 日本生命保険相互会社 | 2,324 | 4.10 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 2,112 | 3.72 |
| 三機工業従業員持株会 | 1,353 | 2.39 |
| ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505001 | 922 | 1.63 |
| エムエスアイピークライアントセキュリティーズ | 867 | 1.53 |
| 株式会社大分銀行 | 800 | 1.41 |

(注) 当社は自己株式2,942千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
また、持株比率は自己株式を除いて計算しております。

## 所有者別株式分布状況（2021年3月31日現在）




## 株主メモ

| | |
|---|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月下旬 |
| 株主確定基準日 | (1) 定時株主総会　3月31日<br>(2) 期 末 配 当 金　3月31日<br>(3) 中 間 配 当 金　9月30日<br>その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めております。 |
| 公告掲載方法 | 電子公告の方法により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。<br>(当社ホームページ https://www.sanki.co.jp/に掲載します。) |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号<br>三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 |
| (電話照会先) | 電話 0120-782-031（フリーダイヤル）<br>取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店（コンサルティングオフィス・コンサルプラザを除く）で行っております。 |

**住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について**

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。